



HyperFlex Data Platform でのスマート ライセンスの設定

- [スマート ライセンスと HyperFlex \(1 ページ\)](#)
- [スマート ライセンスへのクラスタの登録 \(5 ページ\)](#)
- [スマート ライセンス承認の更新 \(7 ページ\)](#)
- [スマート ライセンスからのクラスタの登録解除 \(8 ページ\)](#)

スマート ライセンスと HyperFlex

概要

シスコスマート ソフトウェア ライセンシング (スマート ライセンス) は新しいインテリジェントなソフトウェアライセンス管理ソリューションで、組織全体でライセンスを調達、導入、管理するなど、時間のかかる手動のライセンスタスクを自動化します。どのようなライセンスをどのように使用しているかを把握できるように、ライセンスの所有権および消費状況を可視化します。

スマートライセンスにより、会社全体でライセンスがプールされます。サーバベースのライセンスまたはスマート ライセンスは、会社が所有する互換性のあるデバイスで使用できるように、デバイスにノードロックされません。仮想アカウントを使用して会社のライセンスと製品インスタンスをたとえば事業部門や製品タイプや IT グループ別に論理エンティティに編成すると、仮想アカウント間でデバイスとライセンスを簡単に転送できるようになります。

スマートライセンス機能は、Cisco HyperFlex と統合されており、HX ストレージクラスタを作成するとすぐに自動的に有効になります。HX ストレージクラスタによるライセンス消費の報告を開始するには、Cisco スマート アカウントを通じて、そのクラスタを Cisco Smart Software Manager (SSM) に登録する必要があります。スマートアカウントは、会社全体でシスコのソフトウェアライセンスおよび製品インスタンスを完全に可視化し、それらへのアクセスを制御するクラウドベースのリポジトリです。登録の有効期間は1年です。

登録すると、スマートアカウント側で HyperFlex を識別し、ライセンスの使用状況を Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトに報告できます。登録後、HyperFlex はライセンスの使用状況を現在のライセンス状況とともに、Cisco Smart Software

Manager または Smart Software Manager に報告します。詳細については、以下のライセンスステータスセクションを参照してください。

HX ストレージクラスタを登録した後、Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトに対して HyperFlex を特定するために使われる証明書により通信メッセージに署名します。HyperFlex は次の要求を自動的に送信します。

- 6 ヶ月ごとの更新登録要求。自動登録更新が行われない場合は、`stcli license renew id` コマンドを使用して手動で更新します。
- スマートライセンスでは、30 日ごとの更新承認要求が必要です。自動承認更新が行われない場合は、`stcli license renew auth` コマンドを使用して手動で更新します。更新を試みたときに接続が利用できない場合か、更新時間が接続時間帯外である場合にのみ、スマートライセンス承認を手動で更新する必要があります。
- また、更新の承認要求は、ライセンスの消費が変更されるたびに Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager に送信されます。この承認の有効期間は 90 日です。HyperFlex が 90 日の間に Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager に問い合わせた自身の承認を更新しなかった場合、HyperFlex で消費されているライセンスは回収され、プールに戻されます。

ライセンスステータス

Registration Status	説明	ステータスの確認	システム機能性
評価モード	スマートライセンスは有効ですが、HX ストレージクラスタは、90 日間の評価期間および Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager に登録されません。	ステータスを確認するか、残りの評価期間を確認するには、 <code>#stcli license show all</code> を実行します。 Result: Mode = Eval & Remaining period(Number of Days:Hours:Minutes)	特長または機能性に影響はありません。
評価期限切れ	スマートライセンスは有効ですが、HX ストレージクラスタは、Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager に登録されません。ライセンスは最初の未確認状態で、コンプライアンス違反とは見なされません。	ステータスを確認するには、 <code>#stcli license show all</code> を実行します。 Result: Mode = Evaluation Expired	特長または機能性に影響はありません。 • Syslog メッセージの生成します。 • HX 接続 UI で評価の期限が切れ警告を生成します。

Registration Status	説明	ステータスの確認	システム機能性
コンプライアンス	スマート ライセンスは有効で、HX ストレージクラスタは、Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager に登録されます。ライセンスの消費数は所有数を下回っています。	—	—
コンプライアンス違反	<p>所有している数よりも多いライセンスを消費しています。</p> <p>重要 シスコは、デバイスが不適合であっても、お客様のネットワークに干渉することもシャットダウンすることはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 初期登録状態でのコンプライアンス違反—スマートライセンスは有効で、HX ストレージクラスタは、Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトに登録されますが、最初の登録後には十分なライセンスがありません。 • 初期状態後でのコンプライアンス違反—スマートライセンスは有効で、HX ストレージクラスタは、Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトに登録されますが、十分なライセンスがありません。 	<p>ステータスを確認するには、<code>#stcli license show all</code> を実行します。</p> <p>Result: Mode = Out of Compliance</p>	<p>特長または機能性に影響はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Syslog メッセージの生成します。 • クラスタ レベルで HX 接続 UI にコンプライアンス違反 警告を生成します。

Registration Status	説明	ステータスの確認	システム機能性
認証が期限切れ	スマートライセンスは有効で、HX ストレージクラスタは、Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトに登録されますが、90 日以上 Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトと通信することはありません。	ステータスを確認するには、 <code>#stcli license show status</code> を実行します。 Result: Mode = Authorization Expired	特長または機能性に影響はありません。 <ul style="list-style-type: none"> • Syslog メッセージの生成します。 • HX 接続のイベントまたはアラームはありません。 • Cisco Smart Software Manager ポータルでは、フラグと通知が表示されます。
エクスポートコントロールフラグを「許可しない」に設定する	スマートライセンスは有効で、HX ストレージクラスタは、Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトに登録されますが、エクスポートコントロールを使用するために登録することはできません。	—	動作は Cisco Smart Software Manager サーバによってほとんどコントロールされています。 (注) このステータスは、HX ストレージクラスタに制限機能が含まれている場合にのみ適用されます。

Registration Status	説明	ステータスの確認	システム機能性
ID 証明書の有効期限が切れています	スマート ライセンスは有効で、HX ストレージクラスタは、Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトに登録されますが、ID 証明書は 6 か月以上更新されていません。ライセンスは不特定未確認状態で、コンプライアンス違反と見なされます。	ステータスを確認するには、 <code>#stcli license show status</code> を実行します。 Result: Mode: ID Certificate Expired すべての条件を消去しコンプライアンス ステータス に戻るには、次のコマンドを実行します。 <code>#stcli license renew <auth>/<id></code>	<ul style="list-style-type: none"> • Syslog メッセージの生成します。 • HX 接続のイベントまたはアラームはありません。 • Cisco Smart Software Manager ポータルでは、フラグと通知が表示されます。

スマート ライセンスと Smart Software Manager サテライト

インターネット接続を使用してインストール済みベースを管理しないようにするか、それが許可されていない場合は、Smart Software Manager サテライトをオンプレミスでインストールし、Cisco Smart Software Manager のサブセットを使用してライセンスをローカルに管理できます。[Smart Software Manager サテライトのダウンロード](#)。HyperFlex 用に Smart Software Manager サテライトを設定するには、HX Data Platform CLI から次のコマンドを実行します。

```
stcli services sch set --portal-url
http://<satellite-host>/Transportgateway/services/DeviceRequestHandler --email
<user-email-address>
```

Smart Software Manager サテライトを Cisco Smart Software Manager に登録およびし、完全に機能した後、30 日おきに Cisco Smart Software Manager を同期する必要があります。同期には次の 2 つのオプションがあります。

- ネットワークが接続されているときのオンデマンドまたはスケジュール済み同期。
- ライセンス ファイルをダウンロードおよびアップロードして手動で同期します。

スマート ライセンスへのクラスタの登録

スマートライセンスは自動的に HX ストレージクラスタと統合し、デフォルトでは有効です。スマートライセンスはインストールしません。HX ストレージクラスタはスマート ライセンスでは登録されておらず、90 日間評価モードです。90 日以内に、HX ストレージクラスタを登録して機能をすべて使用する必要があります。



注目 Smart Software Manager サテライトとともに HyperFlex クラスタを登録する前に、プロキシが設定されていないことを確認します。プロキシが設定されている場合は、Smart Software Manager サテライトとともにクラスタを登録する前にプロキシを削除します。

始める前に

- HX ストレージクラスタが HyperFlex Data Platform 2.5 (1a) 移行を実行していることを確認します。
- スマートライセンスの使用を開始する前には、Cisco スマートアカウントを持っている必要があります。スマートアカウントは発注時に作成（または選択）できます。または長期ではスマートアカウントを発注外で作成して、新規または既存のライセンスを追加することもできます。

スマートアカウントを作成するには、**[Cisco Software Central] > [Request a Smart Account]** (<https://webapps.cisco.com/software/company/smartaccounts/home?route=module/accountcreation>) を参照してください。

ステップ 1 コントローラ VM にログインします。

ステップ 2 スマートライセンスモードで HX ストレージクラスタを確認します。

```
# stcli license show status
```

フィードバックには [Smart Licensing is ENABLED]、[Status: UNREGISTERED] と表示され、90 日の評価期間の残り時間（日、時、分、秒）が表示されます。スマートライセンスの評価期間は、HX ストレージクラスタでライセンス機能を使用し始めたときに開始され、更新はできません。評価期間の期限が切れた後に、スマートエージェントは通知を送信します。

ステップ 3 使用するバージョンに応じて、ソフトウェア マネージャにログインします。

オプション	説明
Cisco Smart Software Manager	[Cisco Software Central] (https://software.cisco.com/) に移動し、スマートアカウントにログインします。[ライセンス] ウィンドウで、[スマートソフトウェア ライセンシング] をクリックします。[Inventory] をクリックします。
Smart Software Manager サテライト	<a href="https://<IP address of the satellite>:8443">https://<IP address of the satellite>:8443 にアクセスし、管理者のクレデンシャルを使用してサテライトにログインします。

ステップ 4 HX ストレージクラスタを登録するバーチャルアカウントから、[General] をクリックして、[New Token] をクリックします。

ステップ 5 [Create Registration Token] ダイアログボックスで、次を実行して、[Create Token] をクリックします。

- トークンの簡潔な [Description] を追加します。
- トークンをアクティブであり他の製品で使用できるようにする日数を入力します。最大= 365 日

- [Allow export-controlled functionality on the products registered with this token] をオンにします。

ステップ 6 [New ID Token] 行から、[Actions] ドロップダウン リストをクリックし、[Copy] をクリックします。

ステップ 7 コントローラ VM にログインします。

ステップ 8 HX ストレージクラスタを登録します。 *idtoken-string* は、Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトからの [新規 ID トークン] です。

```
# stcli license register --idtoken idtoken-string
```

ステップ 9 HX ストレージクラスタが登録されていることを確認します。

```
# stcli license show summary
```

別の方法として、HX ストレージクラスタが登録されていることは、[Cisco Smart Software Manager] > [イベントリ] > [製品インストール] で確認できます。

例：

```
root@SpringpathController80IW1HJOKW:~# stcli license show summary
```

```
Smart Licensing is ENABLED
```

```
Registration:
```

```
Status: REGISTERED
Smart Account: Corp X HyperFlex License
Virtual Account: west-region
Last Renewal Attempt: None
Next Renewal Attempt: Aug 1 17:47:06 2017 PDT
```

```
License Authorization:
```

```
Status: AUTHORIZED
Last Communication Attempt: SUCCEEDED
Next Communication Attempt: Mar 4 16:47:11 2017 PST
```

```
License Usage:
```

```
License                               Entitlement Tag
Count Status
```

```
-----
Cisco Vendor String XYZ
```

```
regid.2016-11.com.cisco.HX-SP-DP-S001,1.0_1c06ca12-18f2-47bd-bcea-518ab1fd4520 3      InCompliance
```

スマート ライセンス承認の更新

始める前に

- HX ストレージクラスタがスマートライセンスに次のコマンドを使用して登録されていることを確認します。

```
# stcli license show status
```

ステップ1 コントローラ VM にログインします。

ステップ2 次のコマンドを使用してスマートライセンス承認を更新します。

```
# stcli license renew id
# stcli license renew auth
```

ステップ3 HX ストレージクラスタが更新され、承認されていることを確認します。

```
# stcli license show summary
```

スマートライセンスからのクラスタの登録解除

ライセンスを解放してプールに戻して別の HX ストレージクラスタで使用されるようにするか、または Cisco Smart Software Manager の登録を削除する場合（たとえばクラスタをデコミッションする場合）には、HX ストレージクラスタを登録解除します。HX ストレージクラスタを登録解除すると、HyperFlex は評価期間が残っていれば評価モードで実行します。そうでない場合は、HyperFlex は評価の有効期限切れの状態になります。

スマートエージェントはライセンスクラウドにアクセスし、それ自体を登録解除します。プラットフォームのすべてのスマートライセンス資格と証明書が削除されます。信頼されているストアのすべての証明書と登録情報が削除されます。スマートエージェントは登録解除のためにシスコに通信できない場合でも登録解除できます。スマートライセンスを再び使用することが必要な場合、HX ストレージクラスタを再登録します。[スマートライセンスへのクラスタの登録（5 ページ）](#) を参照してください。

始める前に

- HX ストレージクラスタがスマートライセンスに次のコマンドを使用して登録されていることを確認します。

```
# stcli license show status
```

ステップ1 コントローラ VM にログインします。

ステップ2 スマートライセンスから HX ストレージクラスタを登録解除します。

```
# stcli license deregister
```

ステップ3 HX ストレージクラスタが登録解除されたことを確認します。

```
# stcli license show summary
```
